

内閣 官房長官 表彰

肥後タクシー有限会社

所在地：熊本県熊本市健軍4-18-21

車いすなどに対応する従来講評の福祉タクシーは、車輦も特別な装置が必要な特殊車で、患者等の限られた移送にしか使えない限定車輦であるとともに、予約が必要で、通常のタクシーとは料金の設定も異なるものが多かった。

しかしながら、肥後タクシーは、一般の旅客輸送も可能な複合型であれば、料金面でも利用しやすい設定が可能であるとの考えに基づいて、熊本県が推進するユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、子どもから高齢者、障害のある人や病気の人など、だれもが利用しやすいサービスの実現を目指して車輦に工夫を重ねた。その結果、平成13年5月、車いすなどさまざまなニーズに対応できる小型のユニバーサルデザインタクシー（旅客定員4名）を日本で初めて導入した。

車体は、8人乗りのRV車を5人乗りに改造したもので、車内が広く、スロープを使って車いすのまま乗ったり、にわか雨などの時に自転車と一緒に乗ったりすることが可能で、対面座席で同乗者同士の会話もできる構造となっている。

また、車いすのままでの利用はもちろんのこと、花嫁衣装のままでの利用や、ベビーカーやスポーツ用品、楽器や自転車等の大きな荷物と同時に移動することが可能である。

なお、利用者のニーズを的確に把握・対応し、必要に応じて改良を行うとともに、普及啓発イベントや福祉機器展示会等に参加・展示しているほか、全国各地からの同業者の視察も受け入れ、同業者の導入促進にも寄与するなどユニバーサルデザインタクシーの普及活動にも寄与している。



乗車の様子



ユニバーサルデザインタクシー（小型）

内閣 官房長官 表彰

広島電鉄株式会社

所在地：広島県広島市中区東千田町2-9-29

広島電鉄は、低騒音かつ低振動で車内の床面に段差がなく、車いすのスペースが確保され、出入口も両開きの広い扉となっている超低床路面電車を計画的に導入し、現在では12編成となっている。そのうち11編成を広島駅～広電宮島口間に投入しており、本区間の概ね2本に1本の割合（約15分間隔）で運行されている。かつては、超低床車両の運行ダイヤを照会する電話もあったが、近年はほとんどない状況である。

この車両の昇降時の段差は、市内線で8cm、鉄道線で3cmであり、必要に応じ車両についているスロープ板を引き出すことにより、段差が解消されるが、スロープ板を利用せずに、車いすやベビーカーなどそのまま乗り込む乗客も多い。

超低床車両の導入と並行して、電車停留場（以下「電停」という。）の拡幅や電停上屋の整備、スロープの傾斜の緩和や車両乗降口と電停との隙間を狭くするなど、電停の改良整備も順次行っており、本路線の41駅中35駅で、車いすでの乗降が、上り下りの双方で可能となっている。また、地元の要望により、病院に隣接した新駅を設置するとともに、駅の移設や改造により乗り換え等の利便性の向上にも努めている。

さらに、現在使用されている外国製車両では、コスト面はもとより、交換部品の輸入調達など保守面においても限界があり、これが超低床車両の普及推進の妨げになっていることから、現在、国内のメーカーと共同で国産車両の開発を進め、早期の実用化を目指している。



100%低床化された超低床車両「グリーンムーバー」



広い扉で段差も少なく車いすやベビーカーでの乗り降りもスムーズ

